

林業総合新聞



発行所 民有林新聞社

〒060-0002 札幌市中央区北2条西19丁目 道森連ビル

電話 011-641-0990 FAX 011-642-6609

週刊 (第5木曜日休刊)

購読料 月額2,600円(税込)

ホームページ http://www.minyurin.co.jp Eメール minyurin@minyurin.co.jp

北海道森林組合連合会

北海道森林組合連合会(阿部徹会長)が建替工事を行っている事務所が8月1日完成した。札幌中心部の防火規制地域に木造事務所ビルを実現させたもので、道民にカラマツ、トドマツ、スギ、広葉樹材など道産材の素晴らしさをアピールする。

カラマツ大断面集成材、CLT

道産材見せる事務所が完成



完成した道森連事務所、札幌市中央区北2条西19丁目



吹き抜けの階段スペースのカラマツ集成材

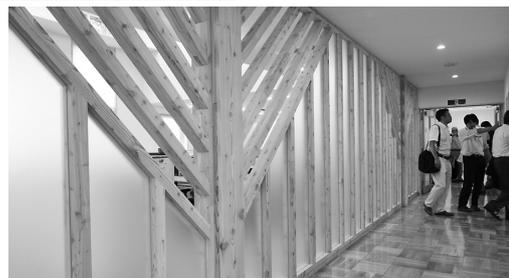
道森連事務所がある一帯は、オフィスビル、マンション、官公庁など6階〜15階建ての鉄筋コンクリート建築が立ち並ぶ地区である。その一角に都市部ではほとんど見られない壁に木材をびっしりと張った木造階段建事務所が現れた。

構造材現しで

建築物を支える構造材にはカラマツ大断面集成材を使用した。建物には通りに面して大きな窓が設けられており、集成材の太い梁の使用が外からも確認することができる。

道内各地の森林組合工場が生産したラミナで集

事務所パーテーションもカラマツ



危険の芽 リスクアセスで 摘み取ろう！ 道森連

だんに使った。羽目板の縦張り、少し重ねながら横張りする下見板張り、さらに、押さえ棒を使って職人技で張るさらさら下見板張りなど、様々な板張りの見本となっている。

100年カラマツ

玄関の内壁には、札幌市の円山公園に残っていた樹齢100年以上のカラマツを活用した。腐朽

都市で木材利用アピール

成材を作った。森林認証を取得している地域も多いため、ラミナの認証材率は約7割に達している。厳しい耐火基準を満たすため、大断面集成材には「燃えしろ設計」を採り入れている。これにより構造材を現しで使うことができた。

外壁は、道南スギ板材、カラマツ板材をふん

う張った。

一方で、最新の木質建材CLT(直交集成板)も採用した。森林組合のカラマツラミナをオホーツクウッドピアで接着加工した。1階会議室の一部に構造耐力壁と内装材を兼ねて使用している。これからCLTの大規模建築が増えることを期待して採用した。

また、旧事務所の役員室・応接室で使われていたカラマツの壁材、テーパーなどは磨きをかけて再利用している。美しい外観を充分に保つており、鉄やプラスチックとは違う木材の優位性が感じられる。

木材使用量 237㎡

下地材にはトドマツ製材、床や屋根下地、壁にはカラマツ構造用合板を使用した。道産ナラ、カバの広葉樹フローリング、造作材ではトドマツ、カラマツ材のルーバー、駐車場の柵にはO&Dウッドも使用している。木材使用量は合計237㎡。設計は株式会社岩見田・設計、施工は郷土建設。